

令和5年度 桜が丘中学校の教育（グランドデザイン）

【法・教育法等の精神】

- ・日本国憲法 ・教育基本法
- ・学校教育法 ・学習指導要領
- ・その他関係法令、規則
- ・国の教育改革の方向性
- ・北海道教育の基本理念
- ・釧路管内教育の重点
- ・釧路市教育大綱
- ・釧路市教育の理念
- ・釧路市教育行政方針
- ・釧路市教育推進基本計画

【地域の実態】

- ・地域の人口減少、高齢化
- ・生活保護、準要保護世帯が多い
- ・地域人材は豊富であり、協力的
- 【生徒の実態】
- ・子どもらしく、素朴で明るく素直
- ・積極性や表現力に欠ける
- ・学力的に中・下位層が多い
- ・不登校傾向の生徒が多い
- 【学校の実態】
- ・生徒数が著しく減少
- ・熱意あふれる教師が多い
- ・令和10年度義務教育学校開校

学校教育目標

- (知) 自分から考え創造する生徒
- (情) 他人のいたみをわかることのできる生徒
- (意) 勤労を尊び社会に奉仕する生徒
- (体) 心身ともにたくましく鍛える生徒

めざす学校像

- ・生徒が喜んで登校し、学ぶ楽しさを味わえる学校
- ・教師が生きがいを感じて仕事に取り組める学校
- ・保護者が安心して子どもを通わせる学校
- ・常に課題意識をもち、研究と修養に努める学校

めざす生徒像

- ・自ら学び、学習の喜びを知る
- ・知性を大切に、物事を正しく判断し、行動する
- ・お互いの立場を理解し進んで協力する
- ・礼儀正しく、明るく、落ち着いた行動をする
- ・勤労を愛し、強く、たくましい精神で実践する
- ・集団の一員として、責任をもって行動する
- ・気力・体力を養い、たくましい体をつくる
- ・進んでスポーツ活動に参加し、運動する楽しさを体得する

めざす教師像

- ・『教育のプロとしての専門性、指導性のある教師』自ら進んで研修に努めて専門性を高め、授業改善に意欲的に取り組むことのできる教師
- ・『生徒とともに歩む人間味のある教師』自らの心を開き、生徒の心を開かせ、ともに人格の完成をめざす教師
- ・『感性豊かで熱意に満ちた教師』教師相互の人間関係を円滑にし、生徒・保護者・地域住民に尊敬、信頼される教師

☆桜が丘中学校区共通 【めざす15歳の姿】

主体的に行動し、心豊かでしなやかな自己を持った子供

学校課題

自分の力で、育ち方・学び方を創造的に切り拓き、発展させる生徒の育成  
～「自律的成長ができる人間」をめざして～

高め合う組織

職員が学校という組織の一員という意識を持ち、  
それぞれの職位に応じた職務を全力で遂行する

◎生徒に関する情報の共有と、必ずしも学年・分掌という枠にとらわれない一枚岩の協働体制

①めざす生徒像の具現化のため、学校という組織の一員のもと、協働体制をとる。

学校経営の重点

I <確かな学力の向上>

- わかる・できる授業づくりを基底にした、「主体的・対話的で深い学び」による授業改善
- 小学校、家庭と連携した取組の推進
- (1)「主体的・対話的な授業」の実践
  - ・校内研修での「わかる・できる」を実感できる「主体的・対話的な授業」の実践
- (2)学習習慣の定着（自律的な学び方）
  - ・朝学習・放課後学習・家庭学習等の充実による学習習慣、基礎基本の定着
- (3)ICT教育の推進
  - ・ICTと従来の授業のよさを取り入れた個別最適化された授業実践
  - ・AI型ドリル教材等の学習履歴の活用
- (4)小中連携した学力向上の取組
  - ・小中ジョイントプロジェクトの推進
  - ・校区小学校の授業研究会への参加

II <豊かな人間性の育成>

- 集団生活における個の役割や責任を考えさせ「共に支え・高め合う中で自律的な成長ができる生徒」の育成に努める
- 自己有用感を高め、個性の伸長や自己実現を支援する指導と改善工夫を図る
- (1)生徒会活動の充実（自ら課題を発見し、人と協力して問題解決に取り組む）
- (2)学年全体・全教育活動を通して行う道徳の指導の充実
- (3)「いじめ防止基本方針」「児童生徒の多様性」等に基づいた生徒理解と教育相談の充実
- (4)心のふれあいを大切にした学年・学級経営
- (5)生徒の自立を促す生徒指導の充実と課題に対する組織的・機動的な対応

III <地域・家庭との連携・協働>

- R10年度の義務教育学校化に向けた校下小学校との連携
- 積極的に情報発信するなど、保護者（地域）との連携を密にした教育活動を進める。
- (1)「小・中ジョイントプロジェクト」による小中連携の強力な推進
  - ・中学校区間の公開型計画訪問の参加
  - ・小中でのノーマディア等の取組
  - ・小中連携した読書習慣の確立の取組
  - ・連携・共同・交流できる教育活動の模索及び実践
- (2)計画的な情報発信
- (3)令和6年度コミスクへの移行に向けた調査・研究

IV <健やかな体を育む指導の充実>

- 体力向上プランに基づいた「一校一運動」の実践
- 生活リズムチェックを活用した基本的生活習慣の定着

V <特別支援教育の充実>

- 合理的配慮と個々の生徒のニーズの把握
- 保護者との連携を密にした実践

VII <自己実現を図るキャリア教育の推進>

- 将来の夢や目的意識を持つ進路指導の充実
- 総合的な学習の時間と連動した指導の充実

VI <安全・安心な学校生活>

VIII <コアチームを基にした働き方改革の推進>